**ハンドマイク街頭演説原稿例　臨時国会で徹底した論戦を**

二〇二〇年十月二七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策をうったえさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、核兵器禁止条約への批准国が５０カ国に到達し、来年１月２２日に発効することが確定しました。日本共産党は、人類史上初めて核兵器を違法化する、画期的な国際条約の発効を心から歓迎します。核兵器廃絶を戦後一貫して訴え、その実現のために行動してきた党として、核兵器禁止条約に参加できる新しい政府をつくるために、引き続き全力をつくします。

さて、みなさん、臨時国会がようやく開会しました。菅首相は初めての所信表明で、違憲・違法の学術会議への人事介入にはまったく触れませんでした。なぜ６人だけ任命を拒否したのか、多くの国民がいまだに納得していません。

今回の人事介入は、首相の任命権は「形式的なもの」とする、従来の国会答弁すら無視した明らかに違法な行為です。最高権力者が法律に反することを理由もなく行っていいのか、ここに問題の核心があります。まさに法治主義への挑戦です。しかも、このまま違法行為がまかり通れば、事態はいっそう深刻なものとなります。学術会議のみならず、税金の補助をうける文化・芸術団体などの活動に重大な委縮効果を及ぼす恐れがあります。さらに、その理由が政府の意向に従わないからではないかとの憶測が広がれば、国民のなかに政権批判を控えるなど権力への忖度がますます広がっていくのではないでしょうか。日本の民主主義にかかわ重大な問題であり、日本が全体主義国家にすすむかどうかの瀬戸際にあるといっても過言ではありません。「違憲・違法の任命拒否は撤回せよ」―立場の違いを超えてご一緒に声をあげようではありませんか。日本共産は、臨時国会で菅首相の責任を徹底的に追及していきます。

みなさん、冬にむけ新型コロナの感染拡大が懸念されるなか、医療機関への経営支援をどうするのか、「検査・保護・追跡」の対策の基本を強化するために体制をどうつくりあげていくかが、いま問われています。コロナ収束が長引いた場合、廃業の危機に瀕する中小企業が３０万をこえるというおそるべき民間調査もだされています。このままでは、リーマンショックを上回る過去最高の雇用危機に直面してしまいます。「コロナ恐慌」ともいうべき、深刻な経済危機を回避するために、日本共産党は、中小企業への直接支援の継続と強化、消費税の５％への減税と納税の免除など、必要なあらゆる手立てをとるよう強く求めていきます。

「自助」を強調する菅政権では、国民の命とくらしは守れません。次の総選挙では、政権合意にもとづく野党共闘をつくりあげ、何としても政権交代を実現するよう全力をつくします。日本共産党の躍進のために、みなさまの大きなご支援をよろしくお願いします。

　最後に、日本共産党の「しんぶん赤旗」の購読をお願いしまして、この場所をお借りしてのうったえを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）